



静岡市脱炭素先行地域（日の出エリア）のご紹介



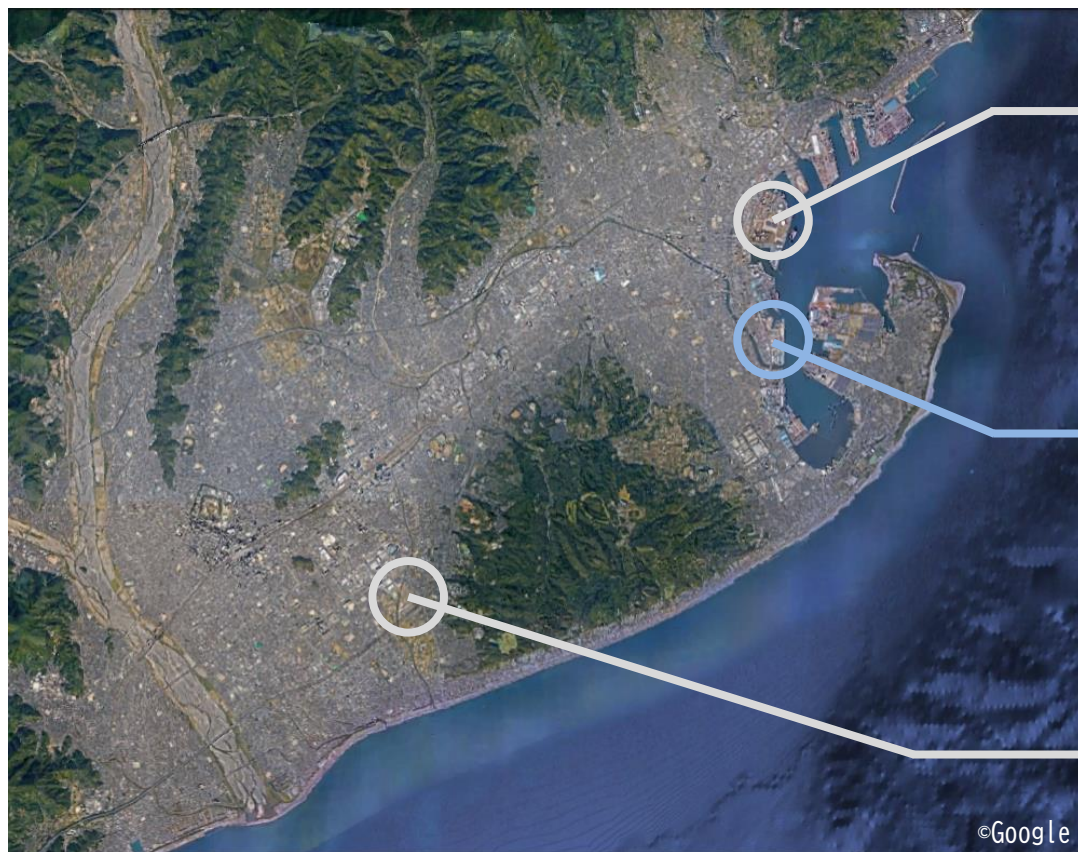
鈴与商事株式会社

2025年1月15日

1. 静岡市脱炭素先行地域

- ✓ 選定エリア
- ✓ 日の出エリア

1. 静岡市脱炭素先行地域：選定エリア



清水駅東口エリア

日の出エリア

恩田原・片山エリア

このうち、鈴与商事株式会社は日の出エリアを担当します。

1. 静岡市脱炭素先行地域：日の出エリア

日の出エリアには、行政施設や物流施設が混在。

今後、海洋文化施設や歴史的石造倉庫群の活用など、観光交流施設の増加、集客が見込まれております。



©Google

2. 全体の概要

- ✓ 日の出エリアの目標
- ✓ 課題
- ✓ 実施概要

2. 全体の概要：日の出エリアの目標

目標

- ・ 2030年までに日の出エリアのカーボンニュートラルを達成

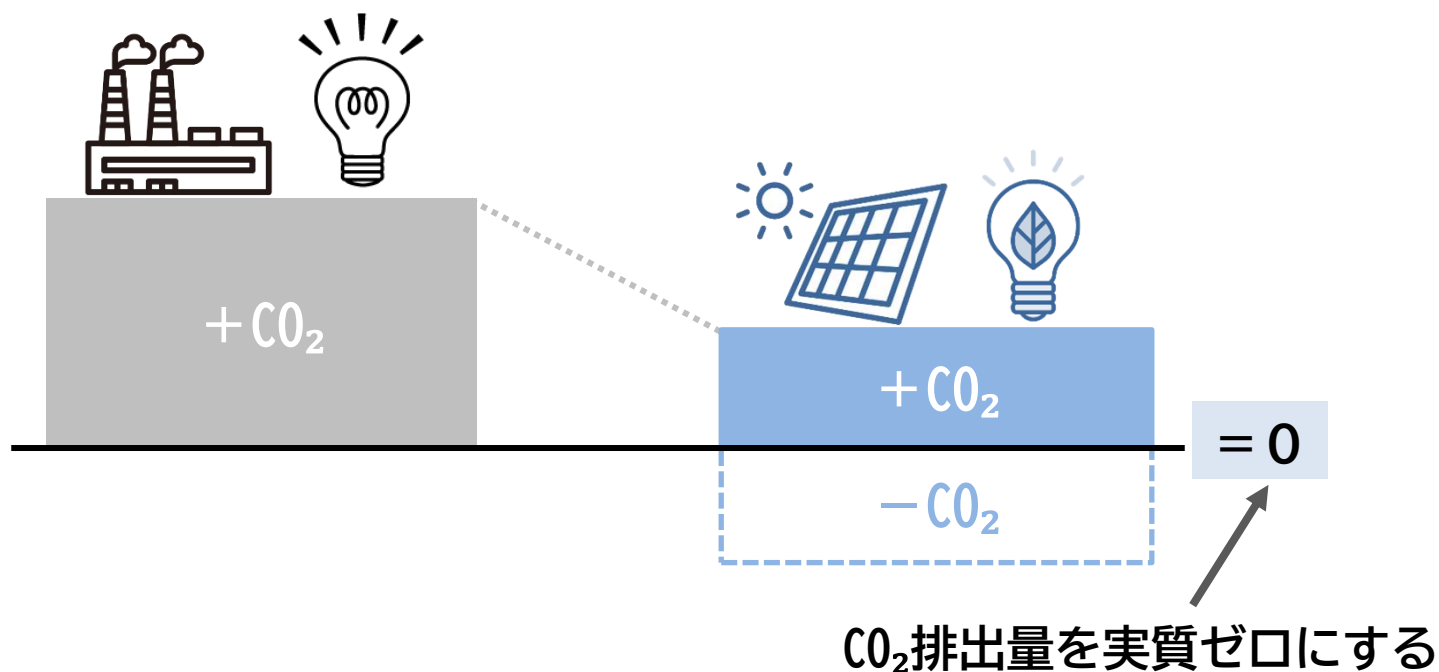
現在

- ・ 電力消費量：年間約200万kWh

※2024年時点の鈴与商事調査結果

CO₂排出量：年間**842t**

※2023年の中部電力ミライズ株式会社CO₂排出係数にて算出



2. 全体の概要：課題

カーボンニュートラルを推進する上での取組

「再エネ電力を、つくる・ためる・使う」

日の出エリア特有の課題

「太陽光の余剰電力が発生する⇒発電量と需要量のミスマッチ」

「従来型太陽光パネルの設置可能施設が限られる⇒建物強度不足」

2. 全体の概要：取組実施概要

1期目

従来型太陽光パネルの設置

従来型太陽光パネルを施設の屋根に設置し、エリア内で再エネ電力を創出します。100万kWh/年程度の発電量を想定しています。

蓄電池の設置

EMSを活用した需給調整により、発生した余剰電力を充電し、発電の無い夜間や悪天候時に放電する事（=タイムシフト）で、再エネ電力の自家消費量を向上させます。⇒発電量と需要量のミスマッチ解消

オフサイト供給

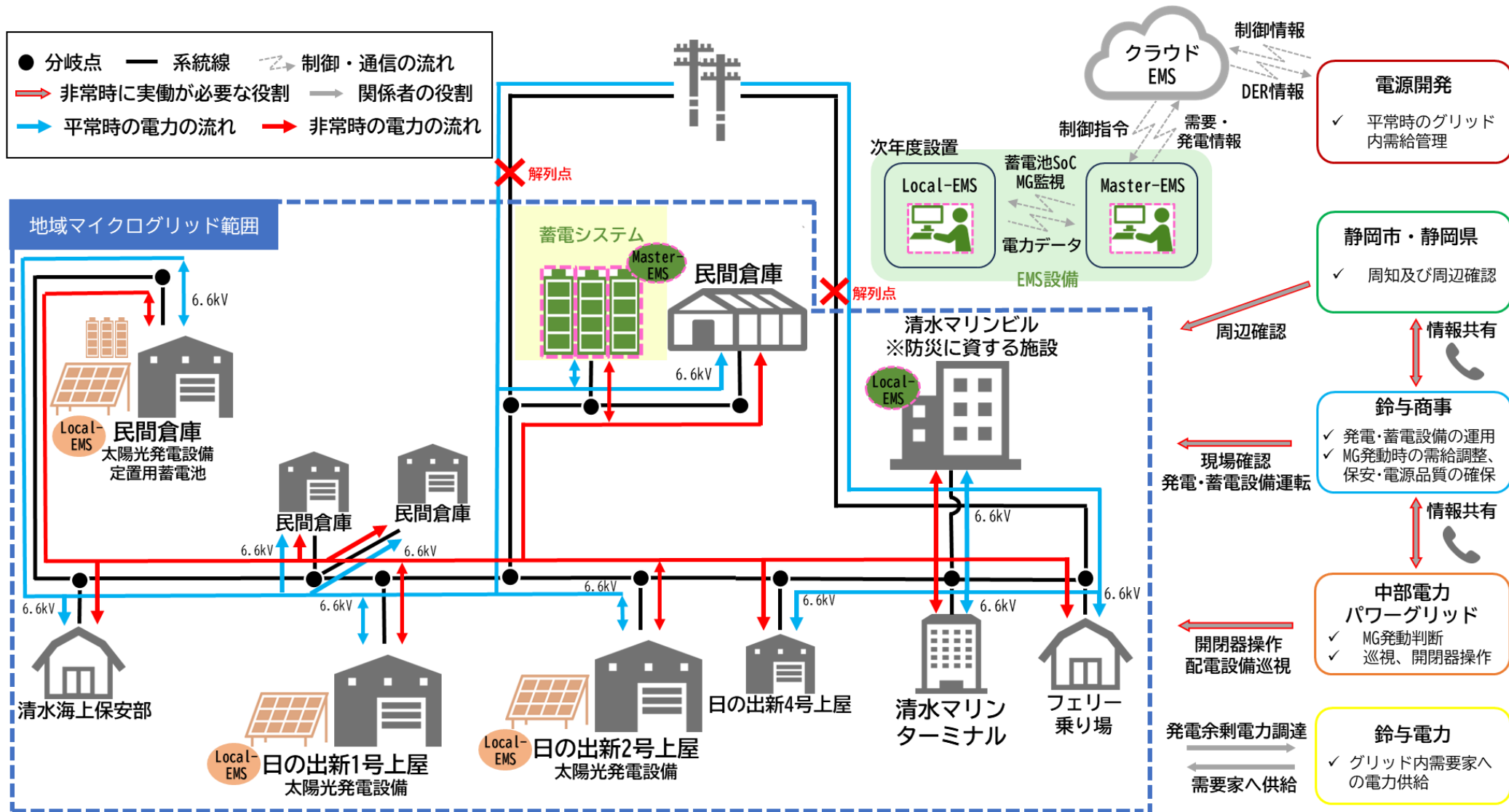
従来型太陽光パネルを設置できなかった施設へ再エネ電力を供給する事で、エリア全体での再エネ電力消費量を向上させます。
⇒発電量と需要量のミスマッチ解消

2期目

次世代太陽電池の設置

耐荷重や屋根面積が不十分な施設へ設置し、エリア内の再エネ導入量を最大化します。

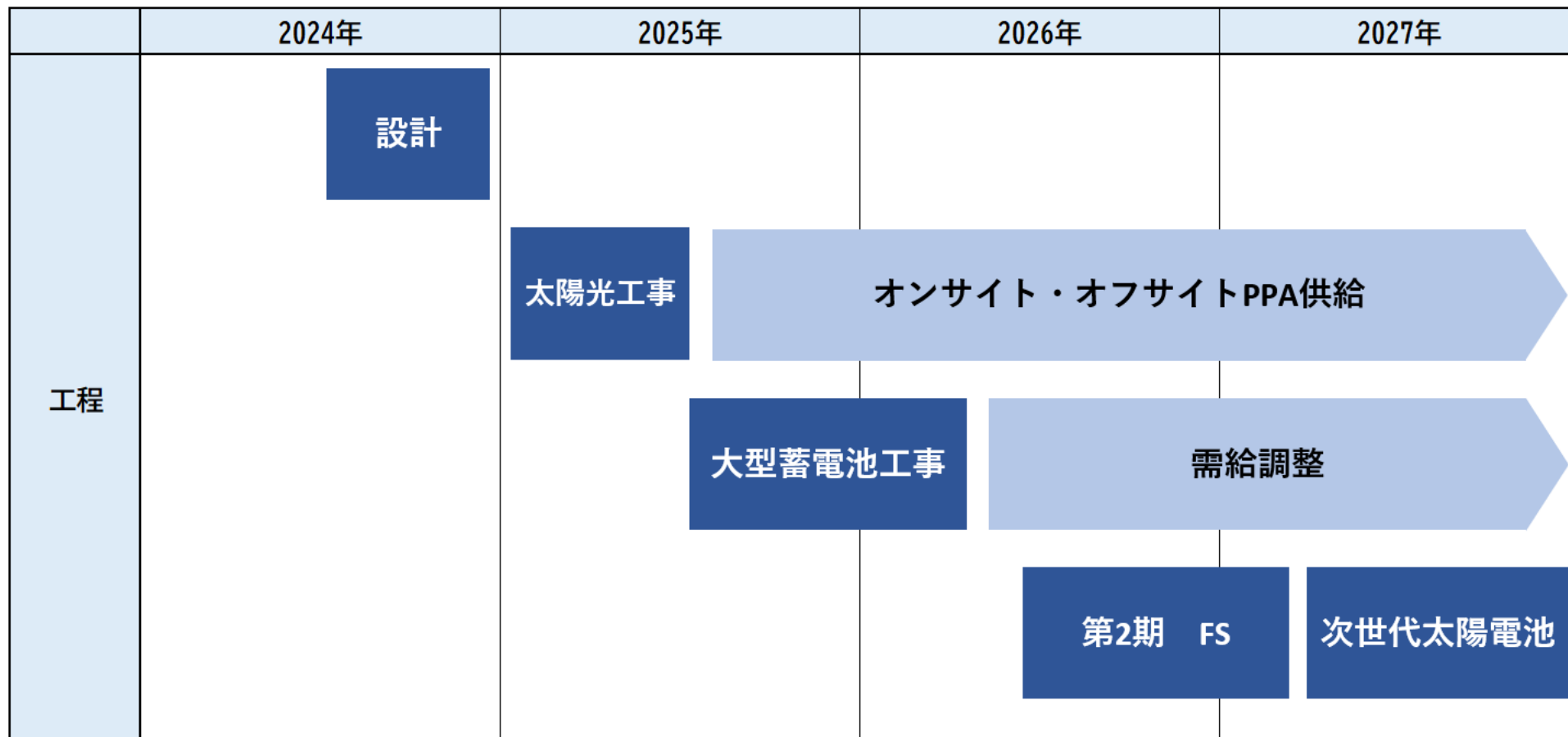
2. 全体の概要：構築概要図



3. 現在の状況

- ✓ スケジュール
- ✓ 現在の日の出エリア

3. 現在の状況：スケジュール



3. 現在の状況：現在の日の出エリア



4. 日の出エリアの将来像

4. 日の出エリアの将来像（1期目）



1期：従来型太陽光の設置と蓄電池の設置を行います

4. 日の出エリアの2030年将来像（2期目）



2期：次世代太陽電池を耐荷重や屋根面積が不十分な施設に設置します

5. 最後に

5. 最後に

脱炭素先行地域の取組によるPRポイント

カーボン
ニュートラル

レジリエンス強化

経済波及効果



本取組みを進めていく事で、環境・社会・経済の三側面の好循環を創出しながら、日の出エリアのさらなる求心力強化に繋げ、競争力ある港湾の形成に貢献してまいります。